

# グラフィック社7月の新刊

## 無骨ながらも美しいコンクリートデザイン 『イタリアのブルータリズム建築』

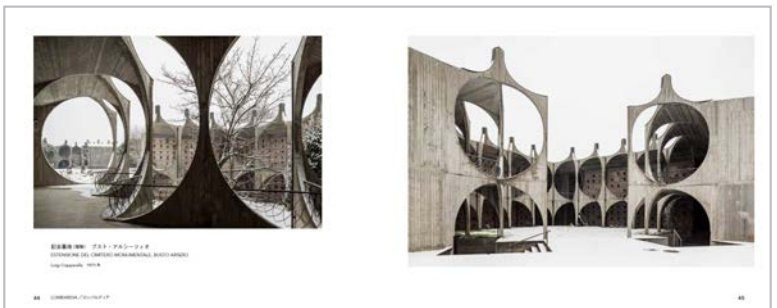


生の素材や構造要素を優先するミニマルズムの美学を持つブルータリズムは、イタリアで独自の進化を遂げた。

イタリアには各地に“後背地（ヒンターランド）”と呼ばれる、集中的に整備され、工場が点在していたエリアがある。

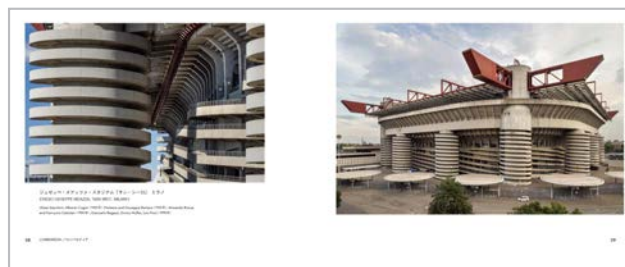
そのそばで生まれ育った著者たちが、廃墟と化していった巨大な工業用地の荒れ果てた建造物に魅了されていく。それがまさに、“美しい”あるいは“醜い”といった二値分類に当てはまらない建造物であるブルータリズム建築（もっと広い意味でいうとコンクリート打放しの建物）である。

本書では個人邸宅から教会、墓地などイタリア全土を網羅した140点以上のコンクリート建造物を収録した類のない一冊。



A5変形、200頁 ISBN 978-4-7661-3895-5 C0072  
定価: 本体 2,500円 (税別)

本書ではイタリアを4つの地域にわけて章立て。20の州にある建築物を掲載している。



<p>ソビエトアジアの建築物 <b>SOVIET ASIA</b> ソ連時代の中央アジアを巡る記録</p>	<p>書名 ソ連時代の中央アジアを巡る記録</p> <p>既刊 ソビエトアジアの建築物</p> <p>口ベルト・コンテ、ステファノ・ペレゴ 編 / 写真 ISBN 978-4-7661-3382-0 C0072 定価: 本体 2,200円 (税別)</p>	<p>注文数</p> <p>冊</p>
---	--	---------------------

<p>書店印</p>	<p>新刊 無骨ながらも美しいコンクリートデザイン イタリアのブルータリズム建築</p> <p>口ベルト・コンテ、ステファノ・ペレゴ 編 / 写真 ISBN 978-4-7661-3895-5 C0072 定価: 本体 2,500円 (税別)</p>	<p>注文数</p> <p>冊</p>
------------	---	---------------------